



行方市
NAMEGATA

に へ
式湖と大地のなめがた

議会だより

No.48

平成29年8月1日発行

発行者：行方市議会 〒311-3512 行方市玉造甲404 TEL0299 (55) 0111 編集：広報委員会



全国金魚すくい選手権大会関東大会（霞ヶ浦ふれあいランド）

主な内容

平成29年
6月
定例会

- 第2回（6月）定例会
（あらかし、議案の説明、議決結果など）…………… 2～3 P
- 一般質問（9名の議員が登壇）…………… 4～8 P
- 第1回臨時会
（あらかし、議案の説明、議決結果など）…………… 9～10 P
- 議会の構成…………… 11 P
- 議会トピックス（議会日誌、傍聴案内等）…………… 12～13 P
- 市民の声…………… 14 P

6月定例会

第2回定例会のあらまし

6月定例会は、6月12日から21日までの10日間の会期で開かれました。今定例会では、平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書等の報告2件のほか財産の取得の議案をはじめ、平成29年度一般会計補正予算などが市長から提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

市長が提出した議案等

議案

財産の取得

■購入する動産

小型消防ポンプ積載車

3台

・消防団北浦支団第1分団

第2部（吉川）

・消防団北浦支団第3分団

第1部（小貫）

・消防団北浦支団第4分団

第3部（長野江）

■契約金額

24,559,200円

■契約の相手方

トキワ産業株式会社

代表取締役 奥村正好

※ 緊急時に安定した稼働

を確保する為、初年度

登録年月より20年経過

した車両の更新

行方市道路線の廃止

・（麻）1242号線

起点 麻生305番2地先

終点 麻生303番1地先

補正予算

平成29年度行方市一般会計

補正予算（第1号）

1億8,253万3,000円

を追加し、総額16億8,253

万3,000円とするもの。

（主な事業）

・ 防災対応型エリア放送整

備事業

・ 公共交通再編プロジェクト

・ 霞ヶ浦ふれあいランド周

辺施設整備事業

報告

平成28年度行方市一般会計

繰越明許費繰越計算書ほか2

件の報告がありました。

■平成28年度一般会計繰越明

許費繰越計算書の報告

■平成28年度行方市流域関連

公共下水道事業特別会計繰

越明許費繰越計算書の報告

■平成28年度一般会計事故繰

越し繰越計算書の報告

議員が提出した議案

特別委員会の設置

行方市議会議員定数等調査

特別委員会設置

第2回定例会の経過

6月12日（月）【本会議】

開会、会期の決定、諸

般の報告、議案の上程、

説明、採決

14日（水）【本会議】

一般質問（3議員）

15日（木）【本会議】

一般質問（3議員）

16日（金）【本会議】

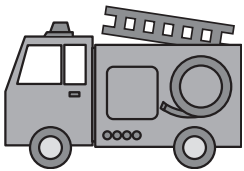
一般質問（3議員）

21日（水）【本会議】

議案の上程、説明、質疑、

採決、特別委員会の設

置、緊急質問、閉会



一般会計補正予算など 3議案を原案のとおり可決 新たな特別委員会を設置



『行方市議会議員定数等調査特別委員会』 が設置されました。

議員定数及び議員報酬について調査することを目的とし、全議員の総意により設置されました。

特別委員は議長を除く19名で、特別委員長は平野晋一議員、特別副委員長は大原功坪議員が互選されました。

平成29年第2回行方市議会定例会 議決結果一覧

《市長提出議案》

議案番号	件名	結果
報告第8号	平成28年度行方市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告第9号	平成28年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告第10号	平成28年度行方市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	-
議案第30号	財産の取得について	原案可決 (全会一致)
議案第31号	行方市道路線の廃止について	原案可決 (全会一致)
議案第32号	平成29年度行方市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決 (全会一致)

《議員提出議案》

議長発議	行方市議会議員定数等調査特別委員会設置について	原案可決 (全会一致)
------	-------------------------	----------------

今定例会で補正された予算(平成29年度)

会計別	補正額	主な内容	総額
一般会計 (第1号)	1億8,253万 3,000円 増額	歳入 <ul style="list-style-type: none"> 再編関連訓練移転等交付金 /2,250万円 地方創生拠点整備交付金 /2,100万円 前年度繰越金 /4,904万8,000円 地域エリア放送整備事業債 /1億510万円 歳出 <ul style="list-style-type: none"> 新公共交通システム事業 /△1,155万円 防災対応型エリア放送整備事業 /1億1,258万9,000円 公共交通再編プロジェクト /1,353万5,000円 茨城版持続可能な地域づくり事業 /1,109万円 観光物産館こいこい改修工事 /3,494万9,000円 霞ヶ浦ふれあいランド周辺施設整備事業 /5,000万円 	166億 8,253万3,000円

市の考えを問います

一般質問

9名の議員が登壇し、市執行部に対し方針等を問いました
(内容は要約して掲載しています)

高橋 正信 (一問一答) ... 4ページ

- 1 人口問題と定住支援について
- 2 生活困窮者支援について
- 3 自転車活用推進について

小野瀬 忠利 (一問一答) ... 5ページ

- 1 地域産業振興について
- 2 子育て支援について

高木 正 (一問一答) ... 5ページ

- 1 住民本位の行政確立とその責任について

貝塚 俊幸 (一問一答) ... 6ページ

- 1 農政について
- 2 行方市立幼稚園について

阿部 孝太郎 (一問一答) ... 6ページ

- 1 働く場拡大プロジェクトについて
- 2 不妊治療費補助事業について

宮内 正 (一括) 7ページ

- 1 麻生中学校の通学路について
- 2 東関東自動車道について

河野 俊雄 (一問一答) 7ページ

- 1 安全安心なまちづくりについて
- 2 公共施設の維持管理について

栗原 繁 (一括) 8ページ

- 1 社会福祉の現業組織について
- 2 開発行為と環境保全について

小林 久 (一括) 8ページ

- 1 鈴木市政の自己評価について
- 2 税収と財政について

人口問題と定住支援について



高橋 正信 議員

問 千年村に認証された行方市と定住支援について伺う

答 市長 今回の認証は、常陸国風土記にも記されている本市の魅力ある歴史的な観点に加え、いにしえより続く安心・安全で生活しやすい住環境が評価されて、新たな魅力を再発見していただいたものであると受けとめています。これを機会に、知名度、認知度、ブランド力の向上を図るシティプロモーションなどへの取り組み、交流人口の増加や定住、移住の施策などにも展開していきたい。

生活困窮者支援について

問 相談窓口に来れない方に対する掌握と支援はどのようにされているか。相談窓口を開設し、待っているだけでは実態はつかめない

し、早期発見・早期対応は図れない。自立支援制度の主眼とするアウトリーチという対応をしていかなければ進んでいかないと思うが、どのようにお考えか伺いたい

答 保健福祉部長 この事業の目的、アウトリーチは重要と考えています。今後、そういうところへの対応をして、実態把握に努めていきたい。

自転車活用推進について

問 自転車活用推進法が施行されたが、本市においては推進計画をいち早く策定し、公共の利益の増進と自転車活用環境づくりを推進すべきと思うが、所見を伺う

答 市長 自転車活用推進法は、良好な自転車交通網を形成するための自転車専用道路の整備など15の施策を基本方針としており、本市としても国・県の計画策定状況を踏まえて検討していきます。また、ご提案の霞ヶ浦と北浦を連絡する自転車専用道路の整備も、車両の交通量や道路の規格、道路管理者の考え方を踏まえて、県へ整備推進を働きかけます。

地域産業振興について

問 各産業においてどのような変化、推移が見られるのか。課題や今後の取り組みについてはどのように考え、進めていくのか。関係団体との連携、協力はどのようになされているのか

答 市長 本市の第一次産業は、農業産出額が増加傾向で推移しています。一方で、農業従事者は担い手不足、高齢化などにより減少傾向であり、畜産業、水産業でも従事者は減少しています。このため、新規就農者の育成、農地集積や農業の6次産業化、なめがたブランドの確立など高付加価値化による販路拡大を進めています。

第二次産業、第三次産業については、事業所、従業員数ともに減少傾向にあります。地域活力の源となる商業・工業の事業所の減少は、雇用確保の面からも減少幅を



小野瀬 忠利 議員

抑制したいと考えています。今年度から商工会との連携により創業・事業継承者への支援を行うことにしています。

子育て支援について

問 近年の保育所、幼稚園の園児数の推移を見て、就学前保育、教育の今後の在り方について

答 教育長 公立幼稚園は、10年前と比べて35%まで減少しており、今後の方向性について考えなければいけない時期に来ていると思います。今年度配置した指導主事を中心に保護者の意向調査、地域の方のご意見等聞きながら、検討に着手していきたい。

問 放課後児童クラブ、降園後保育について

答 保健福祉部長 放課後児童クラブの利用者は増加傾向にあり、多少窮屈感が感じられる教室や、2か所に分散して実施している所もあるので合理的な運営を図っていきたい。

降園後保育については、児童数の減少による利用者の激減が起きており、対策を早急に検討する必要がありますと考えています。

住民本位の行政確立とその責任について（説明責任・結果責任）

問 行政の主体は住民である。多種多様な意見の集約的調整の中で、公平・公正・公理をもって住民の理解と協力を求めるものである。

行政の使命と責任の第一義は住民の生命と財産を守る事である。

答 手賀のゴルフ場跡地（市有地）のJAへのセレモニー敷地売却についてお伺いをします。

間違いだらけの不動産鑑定書を根拠とし、登記簿上宅地（約1町8反歩、課税価格2,850円/m）実勢価格5,600万円を850万円でなぜゆえ畑として売却したのか。また議会に相談する事もなく独断で決めてしまったのか。市民に対してどの様に説明をし、理解を求めていくのかをお聞きいたします。

答 市長 不動産鑑定士は国家の承認であり、この鑑定書を基礎数

値として売買を行っています。

もともと農地ですから、もともとの現状のまま売買するというのが流れだというふうに思っています。

問 市民の財産を勝手にこれだけの安価で処分する権利を市民は与えていないはずである。いかなる責任を市民に対しとするのか。

答 市長 鑑定書自体の文言、もしくは金額、鑑定の方針については、有効とみています。あの施設を利用される方は組合員であり、市民です。組合員の生活向上を農協で謳っておりますので、市民の生活向上のひとつとして考えています。そういったことでの売買の流れだのご理解いただければと思います。

問 法的問題は前提としての賃貸借契約書をはじめ、公文書である鑑定書も不備なる部分が多々あると思う。また行政内の不動産評価運用等審議会の見解は。

答 副市長 不動産鑑定書は、参考という意味で、文言の間違い、不動産鑑定面積や登記簿面積の数字の違いはありますが、単価を決定したことに問題はないと思っています。



高木 正 議員



貝塚 俊幸 議員

農政について

問 耕作放棄地等解消の施策について伺う

答 経済部長 平成28年度の調査では974ヘクタールの耕作放棄地があります。畑作の拡大は少ないが、水田が増えていきます。行方地域耕作放棄地対策協議会で荒廃した農地、使用していない畑、水田を農地として活用する場合に助成金を交付していますが、昨年度の交付実績はありません。農地中間管理機構との連携を図り、農地の集積と集約化を進め、安定した農地利用と生産性の向上による農業経営の効率化を図っていききたい。

問 減反政策について廃止の目的と今後の動向について伺う。

答 経済部長 平成30年度から国は生産調整の配分は行わないが、需給バランスを確保するため、当面は県と市の農業再生協議会は存続するような形になります。し

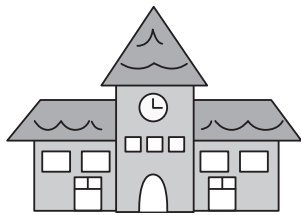
かし、経営所得安定対策交付金は継続されるが、米の直接支払い交付金反当7,500円は廃止され厳しい推進となる見込みです。

行方市立幼稚園について

問 行方市立幼稚園の現状と今後の展望と方針について伺う

答 教育長 公立幼稚園の入園者数は平成26年度から減少しており、本年度は3園合計で119名、就園率は34%となっています。減少の要因として出生数の減少、働き方の変化、子ども・子育て支援法の改正で認定こども園において幼児教育が可能であること、授業料の同一化の影響がある。

本年度から近隣市町村の動向、保護者や地域の意向調査、各園に向き改善すべき点等を調査し、今後の公立幼稚園のあり方や方向性について、子ども・子育て支援事業全体の中で子ども福祉課と連携を図り検討を進めていききたい。



阿部 孝太郎 議員

働く場拡大プロジェクトについて

問 工場立地の特例措置に関する条例制定に関して、緑地面積の規制緩和の条例制定が急務であると考えらるが

答 市長公室長 企業立地を推進する面や市内企業への支援につながることを期待できるものであれば、各種調査などを行いながら、対象エリアと緑地率の範囲などを含め、条例の制定を検討していきたい。

問 緑地率を市内全域、一律で下げることは可能か

答 市長公室長 条例で制定することはできません。

答 市長 働く場というところは、様々な工場、もしくは事業所で行われています。緑地による障害というものが、伸びていく企業を助けるという観点があれば、それは進めていくべきだと考えます。今後も地元の企業が広げ

ていこうというのであれば、そういった方向づけをとって進めていきたいです。

問 農業法人の設立など、農業基盤整備への施策は

答 経済部長 農業法人が設立しやすい環境を作る為に、農業生産力の拡大に向けて担い手への農地の集約を進める必要があるため、農地中間管理機構との連携を強化しながら推進を進めていきます。また、農業法人への就農拡大を支援するために、関係機関と連携しながら、積極的に支援活動をしていきます。

不妊治療費補助事業について

問 不妊症、男性不妊治療への補助拡大に関して

答 保健福祉部長 不妊症や男性不妊の治療助成は、県・その他多くの市町村で状況を踏まえて実施していることから、市としても検討していきます。

答 市長 市においても人口減少の中で、そういった面もフォローしていきたいと考えます。

麻生中学校の通学路について

問 麻生中学校の通学路の整備事業の状況は

答 建設部長 国道側の改良工事が完了し、水戸神栖線側について事業を進めているところです。現道拡幅での計画に基づく用地の取得状況は全体の約3割です。用地の取得ができない土地があることや、本事業に協力をいただけない地権者も存在しています。このため、現道での整備は難しいと判断し、バイパスを通す計画に変更することとして調査、検討を進めているところです。

問 いつごろまでに安全な通学路となるのか。

答 建設部長 バイパス計画について具体的ルート案の決定後に地元説明会を開催し、地権者の同意を得て事業に着手していきたいと考えています。国道側の事業に



宮内 正 議員

については、着工から工事完了まで5年かかっています。水戸神栖線側も相当年数が必要かと考えています。

東関東自動車道について

問 用地買収はどの程度進んでいるのか

答 建設部長 潮来インターチェンジから鉾田インターチェンジ間の取得率は面積ベースで83%となつています。本市内における取得率は81%となっています。

問 2020年に開催される東京オリンピックまでに開通となるのか。

答 建設部長 全線開通時期については、未定となっています。

問 ハイウェイ・オアシスが市内に設置されるか。

答 市長公室長 市内へのハイウェイ・オアシスの設置について前向きに検討しています。ただし、施設設置に当たっては、財源を確保する課題、施設の建設費用や、維持管理のコストがどの程度必要になるかを見きわめ、総合的に判断する必要があると考えています。

安全安心なまちづくりについて

問 行方市地域防災計画策定後の具体的な取り組みはされているか。

答 市長 これまでの具体的な取り組みは、飲料水兼用耐震性貯水槽の設置や、児童・生徒に対する防災教育の充実、避難所等への災害時用公衆電話の設置等を行っています。

問 東海第2発電所の再稼働を巡る動向の下で、行方市としての原子力災害対策は充分なのか。

答 総務部長 国の防災基本計画及び茨城県地域防災計画原子力災害対策計画編により対応し、原子力災害の影響を及ぼしそうな場



河野 俊雄 議員

合は、国・県及び気象庁など関係機関から情報を収集し、なめがたエリアテレビや防災無線、緊急速報メールなどにより退避等の迅速な行動をとれるよう、的確な情報をお知らせします。

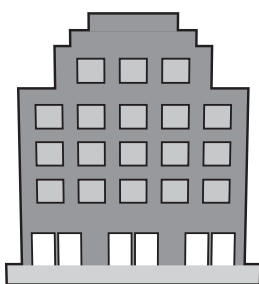
公共施設の維持管理について

問 直接管理施設と委託管理施設の管理状況の把握はどのようにされているのか

答 総務部長 それぞれの所管課が施設台帳を整備し、計画的な修繕に努め、より効果的に施設の状態等を把握するため、施設カルテ（仮称）等の作成も検討しています。

問 公共施設等総合管理計画の実施再編計画の策定状況は。

答 市長公室長 実施再編計画に当たる行方市公共施設再編に向けた展開プログラム（仮称）の素案策定を、9月を目途に進めています。





栗原 繁 議員

社会福祉の現業組織について

問 第2期地域福祉計画、地域活動計画の実行のための現業組織について

答 市長 地域における社会福祉の担い手として、社会福祉協議会は、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公益性という2つの側面を持つた社会福祉法人です。

障害福祉事業としての就労継続支援B型事業や地域活動支援センター事業の運営、新公共交通システム事業、在宅福祉サービスセンター運営事業などがあります。これらの事業と介護や障害の相談窓口を通して、必要に応じて地域の地域包括支援センターや障害福祉担当等との連携をして、保護者の悩みや将来への不安の解消に努めています。

答 保健福祉部長 福祉サービス

を必要としている方に行き渡らせるため、民生委員、児童委員の力をかりて問題の掘り起しなど相談者の悩みを各部署につないでいただくようお願いしています。市民からの相談内容は、多様化、複合化しているため、これらに対応するため横断的な体制づくり、充実を図っていきます。

開発行為と環境保全について

問 人間の福祉であり、不可逆性を伴う環境問題、環境保全に対する姿勢について

答 市長 本市では、霞ヶ浦やこの豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、環境基本条例を制定し、環境基本計画に基づき環境保全活動に取り組んでいるところです。

来年度は、霞ヶ浦を舞台に第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）が開催され、環境保全に係る意識がより深まるものと期待しております。本市においては、世界湖沼会議の開催にあわせ、第26回環境自治体会議全国大会を誘致しました。



小林 久 議員

鈴木市政の自己評価について

問 実績と課題は

答 市長 これまでの実績及び成果は①「子育て支援・教育の充実」として、こども福祉課の新設、医療福祉制度の拡充、5歳児交流事業の実施、子育て世代包括支援センター『ぞれみ』の開設、スクー

ルバス利用料の保護者負担の軽減、すべての学校の耐震化及び冷暖房設備の完備です。

②「市民が安心して暮らせるまちづくり」として、なめがた地域医療センターの医師の確保、人工透析を行う診療所の誘致、健康診断の推進、生涯スポーツの推進、消防・防災体制の強化、飲料水兼用耐震性貯水槽を4ヶ所に設置、防災対応型エリア放送の開局です。

③「元氣な行方になるための産業の充実」として、6次産業化に

向けた事業推進、商工業との連携、行方ふれあいまつりの開催、学校跡地への企業誘致です。

④「夢の持てる行財政改革」として、事業・施策レビューの実施、市の経営戦略や公共施設等総合管理計画の策定です。

⑤「市民生活基盤の充実」として、広域連携バスの運行開始、スクールバスを活用した公共交通網整備計画の立ち上げです。

課題は、人口減少の中、いかにして自主財源や公共交通を確保するかです。また、公共施設について、耐用年数を迎えるものもあるため、今後は、市民と一緒に考えてスリムなまちづくりを考え、費用負担が低く、使い勝手の良い施設にすることが重要となります。

税収と財政について

問 ふるさと納税の今後は

答 市長公室長 実績も着実に伸びており、地域活性の有効な収入源です。また、全国の寄附者に対する地場産品のPRとして有効であるため、当面は現状のまま継続します。

「第1回臨時会」が 開催されました

5月1日(月)

第1回臨時会のあらまし

第1回臨時会は、5月1日の1日間の会期で開かれました。今臨時会では、平成28年度一般会計補正予算の専決処分の報告のほか報告6件が市長より提出され、原案のとおり承認されました。

また、常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任のほか茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙が行われました。

市長が提出した議案等

専決処分

行方市税条例等の一部を改正する条例

主な改正点

- 特定非営利活動促進法の改正によるもの
- 住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長(2年延長)
- 軽自動車税のグリーン化特例(軽課)の1年延長に係る規定整備
- 法人市民税の法人税割の税率引下げ時期が変更になったことによる規定整備
- 軽自動車税の環境性能割の導入時期が変更になったことに伴う軽自動車税グリーン化特例(軽課)の1年延長に係る経過措置の新設規定
- 震災等により滅失した償却資産に代わる償却資産等に対する固定資産税の課税標準の特例規定整備
- 家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業(利用定員5人以下)の用に供する家屋及び償却資産



に対して講じられている固定資産税の課税標準の特例について地方税法上の課税標準同様2分の1とするわがまち特例の規定整備

■軽自動車税グリーン化特例(軽課)の延長規定整備

■個人市民税において優良住宅の造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例の延長規定整備

行方市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

改正の概要

■低所得者に対する国民健康保険税の軽減措置の対象となる世帯の軽減判定所得の見直し

行方市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

改正点

■道路法施行令改正に伴う占用料の計算方法の改正

行方市立幼稚園授業料徴収条例の一部を改正する条例

改正内容

■ひとり親世帯等の保護者負担の軽減措置の拡充

第3階層(市町村民税所得割課税が77,100円以下の世帯)

・第1子 子ども子育て支援政策による減額2,000円及び4,000円を軽減し、軽減額合計6,000円とする

■多子世帯に係る特例措置の拡充

第2階層(市町村民税非課税世帯)

・第2子 全額免除
平成28年度行方市一般会計補正予算(第8号)

1億2,061万8,000円を追加し、総額172億2,512万3,000円とするもの。

報告

損害賠償の額を定め、和解することについて2件の報告がありました。

選挙結果

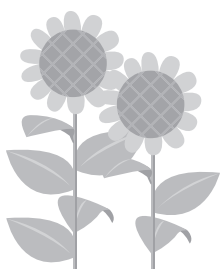
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙
大原功坪議員が、指名推薦により当選いたしました。

第1回臨時会の経過

5月1日(月)

【本会議】

- ・開会
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・議案の上程・説明・採決
- ・常任委員会委員の選任
- ・議会運営委員会委員の選任
- ・茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙
- ・閉会



平成29年第1回行方市議会臨時会 議決結果一覧

《市長提出議案》

議案番号	件名	結果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて (行方市税条例等の一部を改正する条例について)	原案承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて (行方市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	原案承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて (行方市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について)	原案承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて (行方市立幼稚園授業料徴収条例の一部を改正する条例について)	原案承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度行方市一般会計補正予算(第8号)について)	原案承認
報告第6号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定め、和解することについて)	-
報告第7号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定め、和解することについて)	-

今臨時会で補正された予算(平成28年度)

会計別	補正額	主な内容	総額
一般会計 (第8号)	1億2,061万 8,000円 増額	<p>歳入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方揮発油譲与税 /33万円 ・自動車重量譲与税 /884万円 ・利子割交付金 /△207万3,000円 ・配当割交付金 /△1,245万8,000円 ・株式等譲渡所得割交付金 /△322万8,000円 ・地方消費税交付金(一般財源分) /△2,392万9,000円 ・地方消費税交付金(社会保障財源分) /△2,119万5,000円 ・ゴルフ場利用税交付金 /△377万9,000円 ・自動車取得税交付金 /1,963万7,000円 ・特別交付税 /5,823万5,000円 ・震災復興特別交付税 /510万2,000円 ・交通安全対策特別交付金 /△7万8,000円 ・土地売払収入 /3,150万円 ・行方市土地開発公社清算金 /1,885万3,000円 ・行方市ふるさと応援寄附金 /772万5,000円 ・前年度繰越金 /3,713万6,000円 <p>歳出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設整備基金積立金 /1億1,289万3,000円 ・行方市ふるさと応援寄附金基金積立金 /772万5,000円 	172億 2,512万3,000円

議会の構成

5月1日の臨時会で、新体制となりました。

総務委員会

市長公室、総務部、会計課に関する事項並びに他の委員会に属しない事項の調査、審査等を行います。

委員長	栗原 繁
副委員長	藤崎 仙一郎
委員	宮内 守
	土子 浩正
	平野 和
	河野 俊雄

教育厚生委員会

保健福祉部、教育委員会に関する事項の調査、審査等を行います。

委員長	鈴木 裕
副委員長	貝塚 俊幸
委員	鈴木 義浩
	高柳 孫市郎
	平野 晋一
	岡田 晴雄
	宮内 正

経済建設委員会

経済部、建設部、水道課、農業委員会に関する事項の調査、審査等を行います。

委員長	小林 久
副委員長	小野瀬 忠利
委員	椎名 政利
	大原 功坪
	高木 正
	高橋 正信
	阿部 孝太郎

広報委員会

議会情報の広報等に関する事項を行います。

委員長	平野 和
副委員長	阿部 孝太郎
委員	鈴木 裕
	貝塚 俊幸
	小野瀬 忠利
	河野 俊雄

※広報委員会が常任委員会になりました。

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則に関する事項、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項について調査をし、議案等の審査を行います。

委員長	岡田 晴雄
副委員長	宮内 正
委員	小林 久
	鈴木 裕
	栗原 繁
	平野 和

茨城県後期高齢者医療 広域連合議会議員

茨城県後期高齢者医療広域連合議会の議員は、関係市町村の議会において、当該議会の議員のうちからそれぞれ1人を選挙することとなっており、在任する議員が任期満了となるために選挙が行われました。

大原 功坪

議会だより

デジタルブック配信開始！

スマホやタブレットで読める！

※デジタルブックの配信は
発行日の10日後となります。

※操作画面は市報なめがた5月号のものです。



特長1. 見やすい

スマホの小さな画面でも、テキスト部分をタップすると読みやすいポップアップウインドが表示され、文字が読みやすくなります。

表示された文字は、ピンチインでさらに拡大表示が可能です。

※表などの一部はポップアップ表示に対応しません。



特長2. 音声読み上げ

ポップアップ表示に対応したテキストは、モードの変更により音声読み上げをすることができます。

◆モード変更方法：画面表示中に右上の「A a」をタップして切替可能

※音声読み上げ機能はアプリ版のみの対応です。



特長3. 多言語対応

ポップアップ表示に対応したテキストは、スマホやパソコンの言語設定により自動的に多言語表示切り替わります。

対応言語は日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語、タイ語、ポルトガル語の7言語。

もちろん音声読み上げも多言語に対応しています。

※音声読み上げ機能はアプリ版のみの対応です。



音声読み上げには、無料アプリ『カタボケ』のインストールが必要です。
スマホやタブレットで読める「議会だより」をぜひご覧ください。

6月定例会からインターネットで録画配信いたします。
(視聴は議会ホームページから見ることもできます。)

議会トピックス

行方市議会情報を、市公式ホームページに掲載しています。 また、本会議の日程等をメールマガジンで配信しています。 >>> <http://www.city.namegata.ibaraki.jp/>

● 議会日誌 ●

5月

- 1日 第1回 臨時会
総務委員会、教育厚生委員会、
経済建設委員会、議会運営委員会、
広報委員会
- 12日 広報委員会
- 14日 鹿島アントラーズホームタウンデイズ
- 24日 全国市議会議長会第93回定期総会
- 26日 百里基地対策特別委員会
行方市百里基地周辺整備協議会総会
- 29日 総務委員会
- 30日 教育厚生委員会
- 31日 茨城空港利用促進等協議会総会
経済建設委員会

6月

- 2日 鹿島港振興協会総会
- 5日 議会運営委員会、全員協議会
- 12日～ 第2回定例会（6月21日まで）
- 13日 鹿行政経懇話会
- 14～16日 一般質問
- 19日 行方市議会活性化特別委員会
地方創生推進特別委員会
広報委員会
- 20日 経済建設委員会所管事務調査
- 21日 第2回定例会閉会
全員協議会、議会運営委員会
- 22日 行方市企業誘致促進協議会総会
- 27日 行方地域農業改良推進協議会総会
行方地域医療協議会総会
- 28～29日 教育厚生委員会行政視察
- 30日 行方市都市計画審議会

7月

- 3日 霞ヶ浦北浦治水水環境促進同盟会通常総会
東関東自動車道水戸線潮来～鉾田間
建設促進期成同盟会総会
国道51号鹿嶋・潮来バイパス建設
促進期成同盟会総会
- 5日 広報委員会行政視察
- 6日 国道354号整備促進協議会総会
- 6～7日 経済建設委員会行政視察
- 10日 広報委員会
行方地域農業振興協議会定期総会
- 12日 茨城新聞合同政経懇話会
- 13～14日 茨城県市議会議長会視察研修
在日米軍編成に係る訓練移転先
6基地関係市町村議会協議会
- 20～21日 総務委員会行政視察
- 25日 県東市議会議長会定例会
- 26日 水戸神栖線・玉里水戸線道路建設促
進期成同盟会総会



高橋正信議員

表彰されました
全国市議会議長会より、地方自治の伸長発展、市政の向上振興に努められた功績が称えられ、高橋正信議員が表彰されました。



開局しました。

—お知らせ—

6月定例会より「なめがたエリアテレビ」にて、生中継しています。



傍聴してみませんか

議場は玉造庁舎です

次の定例会は

「平成29年 第3回 定例会」

10月11日（水）開会の予定です

10月11日（水）開会

10月16日（月）一般質問

10月17日（火）一般質問

10月18日（水）一般質問（予備日）

○傍聴席は44席（先着順）

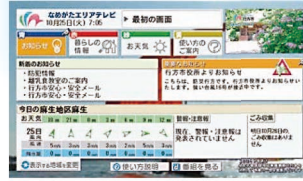
○事前の申し込みは不要です。

○日程は、決まり次第市ホームページ等でご案内いたします。

ご不明な点は、議会事務局

（☎ 0299-55-0111）へお問い合わせください。

ちょっとひと言!! 市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



なめテレ自体を知らない人も多い。もつとPRしてほしい。(40代・女性)

●防災無線が聞きにくい。改善してほしい。(50代・女性)

●行方市周辺は良くも悪くも特徴が無いと言われていたようですが、生活してみると多少の不便はありますが穏やかな暮らしが出来る地域だと思います。

しかし、次代を担う人達がいなければ出来ない事になってしまいます。霞ヶ浦、北浦は勿論近くに筑波山、太平洋を望む風光明媚な行方市です。この観光資源を活用し新たなまちづくりを考えてもらいたいと思います。(60代・女性)

●議会だよりは毎回楽しみにしております。
行方市においてやつと議会のテレビ中継がスタートして、熱心な討論する姿を拝見し感動する思いでした。議会の様子が茶の間で見られ、行政がより身近なものとして感じられました。テレビが入る事は緊張する場面も多いかと思いますが「なめテレ」が出来た事は、市政にとつて大きな第一歩かと思えます。地域人と共に歩んでいく議会であることを願っています。(60代・女性)

●なめテレの電波が悪いので視聴できない。もつと早く拡大して、視聴できるようにしてほしい。

●私の一日は、霞ヶ浦堤防の散歩から始まります。家を出るのは季節に関係なく早朝5時、冬は満天の星空を眺め、北斗七星の位置から北極星を見つれたり、夏には湖岸の水生植物帯造成施設に集まる鯉の姿を確認したり、多くの鳥のさえずりを耳にしたりと、自然を満喫しながら、体調管理に役立っています。
健康に対する意識は、近年かなり高まってきているように思われます。市民が、より健康になるための各種施策を、今後も期

待しております。(50代・男性)

●なめがたエリアテレビを楽しく視聴させていただいております。様々な催しの映像などで知り合いが出てきて面白いです。行方市のことを知り、行方市への愛を深めるには、とても良いものであると思います。天気予報なども非常に便利です。

しかし、まだ視聴できない方がたくさんいるとお伺いしております。私の身の回りでも、半数以上の方が視聴できておりません。

是非これから全ての市民の方に視聴できるように、ご尽力お願い致します。(60代・女性)

●行方市も厳しい財政の中で、いろいろ取り組みをしていると思えますが、子育てしやすい環境、多くの子ども達が明るく元気に暮らせる町づくりをして頂きたいと思えます。

ひとり親の子どもや特別な支援を要する子ども達もきちんと教育を受けられる行方市にして頂きたいと思えます。(50代・女性)



議会だよりのご意見・ご感想をお待ちしております。



暑い夏を迎え、皆様におかれましては、益々ご活躍の事と存じます。

行方市におきましては、防災対応型エリア放送が開始され、市民の皆様への情報伝達の方法が、劇的に変わろうとしております。市議会の広報活動も紙面から映像を含めた時代となり、よりタイムリーに情報が伝わる事と思えます。

いまだ一部の方には、放送が届いておりませんが、全世帯視聴可能となる様工事も進行しております。

また、市議会としても、市民の方々に更なる理解を深めて頂くべく、広報委員会が、常任委員会となり、今までの議会だより発行に加え、よりわかりやすい議会を目指して映像の配信の在り方等、取組んでいく事となりました。

皆様におかれましては、時代の変化に対応し希望のもてる行方市を作っていくため、より一層のご理解とご協力をお願いしてまいります。

今後ともご指導の程よろしくお願ひします。(平野 和)



広報委員会

委員長 和郎 裕幸 利雄
委員 平阿 鈴木 俊 忠 俊
副委員長 野部 木塚 小野 瀬 俊
委員 河 小野 河